

奥進システムが今社会に対してできること

～障がい者就労の現場から～

有限会社奥進システム 代表取締役 奥脇 学



レジュメ

- 弊社の業務紹介
- 会社でのポリシー
- ついででの取り組み
- 障がい者とはたらく環境作り
- 社会に対してできること



弊社の業務紹介

- Web技術を利用した業務管理システム開発業
- 開発事例紹介
- 複数のパソコン、スマホ、などで使用するのが得意
- どこからでもシステムを使える便利さが受けてます



会社でのポリシー

- 労働基準法100%順守
- 残業なし
- 場所に縛られない働き方の模索（在宅勤務）
- クリエイティブな仕事での効率化



ポリシーを形に(ワークライフバランス)

- 就業規則作成
- 事業場外労働の規定(在宅勤務制度)
- 就業時間、週、30, 35, 40時間(リーダー決裁)
- 変形労働時間制
- 技術力を用いた効率化の向上
- 残業なしの取り組み



ついでの取り組み

- 経営理念
- きっかけ、在宅で働ける人
- 障がい者、ひとり親家庭の母親、SOHO事業者
- WLBによる働きやすさ
- 障がい者、ひとり親家庭の母親の雇用



一緒にはたらく事例紹介

- 身体障がい者1級(頰椎損傷):入社8年目
- 身体障がい者1級(頰椎損傷):入社7年目
- 身体障がい者(じん臓、1級):入社4年目
- 精神障がい(2級):入社3年目
- 精神障がい(2級):入社2年目
- 実習は福祉施設、支援学校、関連団体から受入れ
(発達障がい、精神障がい、知的障がい)
- 奥進システムの工夫



障がい者とはたらく環境作り(身体)

- 最初はトラックボール導入から
- 書類整備、ノート取り
- 食事、飲み物の用意
- 室温
- 足の移動、尿のつまり、霧吹きなど
- バリアフリーな事務所(スタッフ限定)
- 整体準備と会社内での整体出張許可



障がい者とはたらく環境作り(精神)

- 半強制的な休憩時間
- 30分ルール
- 仕事の一本化
- 短期区切りフォロー
- 電話対応
- 残業なし



障がい者とはたらく環境作り(精神)

- 睡眠時間、体調、状態を日報で管理
- 定着支援システムの開発
- 支援機関の利用、相談



社会に対してできること

- 会社の理念
- 助成金情報の発信
- 雇用事例のアピール
- 「ついで」に「うえぶサポ」
- 「うえるサポ」の可能性
- 社会的課題で出来ること「SPIS」



「ついで」に「うえぶサポ」

社会的課題

- 特性、手伝うことがわからない(支援者)
- いちいち説明すんのめんどくさ(保護者)

- ネット上で記録、閲覧「うえぶサポ」

解決

- サポートブックを見せることで解決

「うえるサポ」の可能性

社会的課題

- 利用者さんの情報を共有したい
- 日々の記録から支援計画を作りたい

解決

- 支援者の情報共有がスムーズに
- 施設の運用が確立、教育にも最適

社会的課題でできること「SPIS」

社会的課題

- 障がいのある方の就労継続が難しい
- 自分の状態がわからない

- 就労定着支援システム「SPIS」

解決

- 毎日の状態をモニタリング
- 配慮ポイントを判断する

SPISの展開について

- SPISの活用について、支援機関、専門家のご意見
- お互いの理解、信頼関係の構築
- 最初は一つから、話すきっかけに
- 不調の原因を一緒に探そう
- 慣れてきた時が要注意、不調のサインを見逃さない
- 2年ほどでお互いの理解は深まる

一つ一つのこの取り組みが、精神障がいの方々が働きやすい社会づくりになれば、とても幸せ。

最後に

ご清聴ありがとうございました。

